

学校経営の大綱

〔出雲崎小学校〕



1 教育目標

【教育目標】 だれとでも仲よくする子 すすんで学びとりくむ子

2 重点目標（育てたい児童の姿） 自らとりくむ みんなでつくる

「自立と共生」を基軸とした本校の教育目標は、今日の社会要請や出雲崎町が目指す学校教育の姿と合致している。そこで、教育目標を踏まえた重点目標を設定した。「自らとりくむ」は、言わば「個別最適な学び」（自分に合った学び）である。自ら学び続け、自己を更新することで社会の変化に柔軟に対応する力を培う。「みんなでつくる」は、「協働的な学び」（多様な人との学び）である。他者を尊重しながら、協働することで、よりよい方向を導く力を養う。

3 重点目標達成に向けて

以下のⅠ・Ⅱ・Ⅲを大切にし、グランドデザインに示す学び・心・体の調和のとれた育成を図る。

Ⅰ 温かな人間関係の構築と個に応じた支援で、自分を大切に、他者を大切にする気持ち（自尊感情）を育てる。

最も重視することは、自尊感情の育成である。自尊感情とは、自分のできること、できないことなど、すべての要素を包括した意味での『自分』を、他者との関わり合いをとおして、かけがえのない存在、価値ある存在としてとらえる気持ちである。つまり、自尊感情とは、自分を大切にするだけでなく、他者のことも大切にできる気持ちであり、学校生活はもちろん、子供たちが将来生きていくためにも大切な力である。

Ⅱ 多様な人・モノ・コトとの関わりを深める豊かな体験の場を設定する。

次に、重視することは、出雲崎の恵まれた教育資源を生かした体験的な学びである。第6次出雲崎町総合計画における基本目標「夢を育み、歴史・文化を大切にする教育」を踏まえて、設定した。自尊感情は、多様な他者との関わりをとおして育まれる。地域に学び、地域を誇りに思う郷土愛は、自尊感情の形成に重要であり、子供たちが未来を切り拓く意志の原動力となる。地域住民と一体となり、「地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域に学ぶ」教育を推進する。

Ⅲ 情報発信や意見交換、教育相談の機会を捉え家庭や地域、関係者と協働して教育活動を進める。

自尊感情は、「愛される」「ほめられる」「認められる」「感謝される」経験により、育まれる。つまり、自尊感情は、保護者との関係、教師との関係、友達との関係、地域住民等との関係といった人間関係の中で育っていくものである。学校、保護者、地域が理念を共有し、ベクトルをそろえて教育活動を推進していく。その基盤は自尊感情を育むインクルーシブ教育である。

4 家庭との協働－学校と家庭は共に子供を育てるパートナー

保護者と学校は互いに子育てのベストパートナーでありたい。連絡を密にして、家庭の教育力やPTA活動、活動支援ボランティアなど、保護者と協働して子供を育む。まず、信頼関係を構築し、双方向の連絡が取り合えることを心がける。

保護者には、子供は相互の関わりの中で育つことを理解いただき、我が子だけではなく、学校のすべての子供の支援者になっていただく

5 地域との協働－子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く

(1) 子供を真ん中に据えて協働する－横の連携－

昭和53年に西越小学校上校舎・下校舎が統合し、新校舎が現在地に竣工した。平成12年に旧出雲崎小学校と統合し、現在の出雲崎小学校となってから25年目を迎えた。

職員は、学校は地域のものであり、子供は地域から預かっている地域の宝であることを自覚して職務に当たる。「地域の子供はみんなの子供」であり、子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨くものである。当地域にはその理想を叶える有難い環境がある。

出雲崎町は、豊かな自然・歴史・文化・産業等に恵まれている。そのほとんどが教材に活用できるほど、教育財産の宝庫である。さらに、人的体制が充実し、町行政の教育に対する支援は非常に手厚い。例えば、町のスクールバス等を最大限に活用し、地域学習を充実させることができる。地域住民は学校に大変協力的である。学校支援地域本部事業の成果により、当校の教育活動は地域の専門家の協力態勢がしっかりできている。この地域と一体となった学びは、出雲崎小学校の教育の特色であり、今後も一層推進していく。また、平成27年度発足した地域住民による「ほなみが丘またぎ」は、保護者有志も加わり、校舎裏手の学びと遊びのフィールド「ほなみが丘」の整備や校地内樹木の伐採で活躍いただいている。

子供の学びを学校・保護者・地域が支え、子供たちの学びが保護者・地域に活力を与えるような教育活動を心がける。子供が感謝の念をもち、表現する機会を積極的に設ける。

県・町派遣スクールカウンセラー、町派遣特別支援コーディネーターの積極的な活用、子育て支援「きらり」との連携を図り、チーム学校として組織的な対応、実践に努める。

(2) 子供の育ちや学びを連続、発展させる－縦の連携－

保育園、こども園、中学校と連携し、一貫した指導体制の下、子供たちが健やかに成長していける環境を整備する。町の教育方針を理解し、保護者と一体となった教育を進める。

6 職員の在り方

◎ 子供を一人の人間として尊重する。

◎ 出雲崎地域を敬い、尊ぶ。地域に学び、地域を愛し、感謝の心で働く。

(1) 子供の成長をあきらめない。その姿勢を貫くプロで在りたい。

(2) 感じたら動く ー感情を行動へ 行動を感動へー

(3) 生活と仕事の優先順位を意識し、バランスを保つ。

(4) 支え合い高め合う職員集団に。

(5) 積極的な情報発信と交流で信頼関係を築き、支援者を増やす。